

2011 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社ディー・エヌ・エー
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 守 安 功
(コード番号：2432 東証第一部)
問合せ先 執行役員経営企画本部長 上林靖史
電話番号 03-5304-1701

株式会社横浜ベイスターズの株式取得に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社東京放送ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：石原俊爾、以下、「TBS HD」といいます。）及び株式会社 BS-TBS（本社：東京都港区、代表取締役社長：平本和生、以下、「BS-TBS」といいます。）より株式会社横浜ベイスターズの発行済株式の 66.92%を取得することを決議し、TBS HD 及び BS-TBS と株式譲渡契約を締結いたしました。

また、本日、日本プロフェッショナル野球組織（以下、「NPB」といいます。）への加盟申請をおこないましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、球団名は、「横浜 DeNA ベイスターズ」を予定しております。

記

1. 株式の取得の目的

①日本プロ野球界発展への寄与

野球は、日本の国民的スポーツであり、国民にとって最も愛着のあるスポーツです。これからの日本プロ野球の発展に寄与するためにも、球団経営に新しい風を吹かせたいと考えております。当社が提供するサービスを通じて、若い世代から新たなファン層を創出するなど、プロ野球界の発展につながる取り組みを、次々と実施してまいります。野球と当社が運営する「Mobage（モバゲー）」を組み合わせたエンターテインメントの提供によって、来場できないファンも楽しめる環境をつくることや、3,200 万人を超える「Mobage」ユーザがプロ野球ファンになっていただけるようなコンテンツの開発など、新しい可能性に挑戦してまいります。

②地域社会への貢献

神奈川県・横浜市には、すでに大変多くのファンの皆様がいる上に、土地柄としても非常に魅力的な地域です。東京に本社を構える他球団のオーナー企業が、他の地域において地元根付いた球団運営をしているように、当社としても、球団がこれまで以上に横浜に根付いて、ファンの皆様に愛されることを目指してまいります。そのためには、ファンの皆様、地元企業、横浜市などのご協力が不可欠であり、本拠地である横浜スタジアムとも連携して、球団と球場が一体となった運営を目指し、地域社会に貢献してまいりたいと考えております。また、当社が、横浜ベイスターズと同様に、ファンの皆様に親しみを持っていただくためには長い年月が必要だと考えており、長期に球団を保有することを前提に加盟申請を行っております。

③ブランド価値・知名度の向上

上記①②の目的を果たすことで、青少年の健全育成、スポーツ文化の振興や地域経済の発展をもたらし、その結果、企業のブランド価値と知名度の向上につながると考えております。

2. 異動する子会社の概要

(1)	名 称	株式会社横浜ベイスターズ		
(2)	所 在 地	神奈川県横浜市		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 加地 隆雄		
(4)	事 業 内 容	プロ野球の興行他		
(5)	資 本 金	100 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	1953 年 12 月 16 日		
(7)	大株主及び持株比率	株式会社東京放送ホールディングス 51.54% 株式会社ニッポン放送 30.77% 株式会社BS-TBS 17.69%		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はございません。	
		人 的 関 係	該当事項はございません。	
		取 引 関 係	該当事項はございません。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決 算 期	2008 年 12 月期	2009 年 12 月期	2010 年 12 月期	
純 資 産	1,336 百万円	833 百万円	834 百万円	
総 資 産	2,443 百万円	2,053 百万円	2,859 百万円	
1 株 当 たり 純 資 産	1,028.02 円	640.87 円	641.73 円	
売 上 高	7,456 百万円	7,142 百万円	7,820 百万円	
営 業 利 益 (△ 損 失)	△3 百万円	△440 百万円	△20 百万円	
経 常 利 益 (△ 損 失)	21 百万円	△423 百万円	10 百万円	
当 期 純 利 益 (△ 損 失)	1 百万円	△503 百万円	1 百万円	
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (△ 損 失)	0.88 円	△387.15 円	0.86 円	
1 株 当 たり 配 当 金	0 円	0 円	0 円	

3. 株式取得の相手先

名 称	株式会社東京放送ホールディングス
本 社 所 在 地	東京都港区
代 表 者	代表取締役社長 石原俊爾
事 業 内 容	放送関連事業、映像文化事業、不動産事業他

名 称	株式会社BS-TBS
本 社 所 在 地	東京都港区
代 表 者	代表取締役社長 平本和生
事 業 内 容	放送衛星を利用する委託放送事業、各種放送番組の企画、製作及び販売他

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0 株 (議決権割合 0.00%、所有割合 0.00%)
(2)	取 得 株 式 数	870,000 株 (議決権割合 66.92%) (取得価額 65 億円)
(3)	異動後の所有株式数	870,000 株 (議決権割合 66.92%、所有割合 66.92%)

1. 球団取得の資金総額は、株式取得費用 65 億円と NPB への保証金等 30 億円を加えた 95 億円となります。
2. TBS HD は、引き続き発行済株式総数の 2.31%を保有し、球団の発展にご協力いただく予定です。

5. 日程

NPB の実行委員会、オーナー会議でのご承認が得られた後、株式譲渡を実行する予定です。

6. 今後の見通し

2011 年 10 月 31 日に公表しました、2012 年 3 月期第 3 四半期業績予想に変更はありません。

以上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社ディー・エヌ・エー(<http://www.dena.jp>)
IR 部 (ir@dena.jp)

添付

■チーム運営について

新規参入が正式決定した場合のことを想定して、魅力的なチームづくりに向けた検討を並行して行っております。個々の選手の力を最大限発揮させることができ、優れたチーム編成力を持ち合わせた GM（ゼネラルマネージャー）、監督の人選を行ってまいります。決定次第、お知らせいたします。

■球団運営について

球団の収支改善には、球場及び横浜市のご協力が不可欠と考えており、今後、誠実に協議を進めてまいります。収支を改善した健全経営によって、チーム強化や環境整備への追加投資が可能となり、それがファン層の拡大や地域社会へのさらなる貢献に結びつき、その結果、日本プロ野球界の発展に寄与することができると考えております。

■球団名について

地域との親和性を勘案し、従来の横浜ベイスターズファンからも引き続き親しみを持っていただけることを重視し、かつ、当社の事業との連携によりファン獲得を積極的に推進することを目指し、「横浜 DeNA ベイスターズ」として申請いたしました。

以上